

特集2

高速インターフェース規格 準拠機器の 製品化ノウハウ

480Mbps USB 2.0ハイスピード・モード の仕様理解から認証ロゴの取得まで

数百Mbps~数Gbpsの高速シリアル・インターフェースに関する標準規格が次々と策定され、対応する機器の製品化も始まっています。本特集では、こうした高速シリアル通信規格準拠の機器について、設計を始める前の仕様の理解から、機能設計、検証、認証ロゴの取得に至るまでの各作業工程について解説します。モチーフとして取り上げるのは、USB 2.0のハイスピード・モード(480Mbps転送)です。ハイスピード・モード対応MP3プレーヤの設計事例や、USB-IFの認定を受けた独立テスト機関による設計時のアドバイスなどを紹介します。



システムの記事



ボードの記事



関連データ



第6章

USB On-The-Goのための 新しいロゴ認証テスト

相互接続性を実証して、
いち早く携帯機器向けUSBを市場に投入
Ray Asbury, David Luke



第4章

プロトコル検証の進めかたと 不具合対策

実データ転送速度を
引き上げるためのテクニック
早川義昭



第2章

まず、“リファレンス・デザイン” より始めよ

USB 2.0機器開発の
トラブル・シューティング
掛須利夫



第5章

ロゴ認証テスト、一発合格への手引き

USB-IF認定独立ラボの統計から
分析する設計時の落とし穴
田村武司



第3章

USB 2.0ハイスピード・モード 対応MP3プレーヤを作る

高速シリアル・インターフェースの設計事例
Steve Kolokowsky



第1章

設計の基本は仕様の理解

高速シリアル通信を実現するために
知っておくべき最低限の知識
掛須利夫